

【生徒の意見、提案など】	生徒からの質問	【市長の考えなど】	担当課
<p>【美しい町 西尾】 西尾市は、自然が豊かに残っているため緑が多い町です。緑の多い町に、華やかさが加わると、もっと美しい町になると思います。東部地区には、三和小学校の近くに、桜並木がある「ふれあいの道」があります。普段人があまり通らない場所ですが、桜が咲く時期は、カメラを片手に、この道歩く人が増えます。また、下羽角のデンソー敷地内に公道があり、700m続く桜並木があります。桜が咲く時期には、この公道を通る車の速度が落ちます。車の中から桜を見上げながら運転しているようです。桜並木は、人々が集まる名所になると思います。年を追うごとに木が大きくなり、見応えもあります。桜の花があちこちで咲く町になったら、華やかで心が豊かになる気がします。西尾市は、「海・山・川に囲まれた豊かな自然環境の中で、地域に根ざした多様な文化と農・工・商のバランスのとれた産業を育てているまち」とPRしているとおおり、暮らしやすく、自慢できるまちだと思います。そこで、豊かな自然、文化や歴史などの素晴らしい財産に、新たに「花」を加えたまちづくりとして、桜を中心とした花のまちづくりを考えました。桜には、みなさんが知っている「ソメイヨシノ」の他にも、いろいろな種類があります。せっかく桜を植えて西尾の名所を作るなら、いろいろな種類の桜をたくさん植えたいと思います。また、桜と桜の木の間、四季折々の多年草を植えれば、春だけでなく、年間通して美しい西尾市を作ることができると思います。桜並木を中心に、四季折々の花が咲く華やかな町、西尾市にできたらと考えました。</p>	<p>【質問1】 提案する「西尾城の一部を再建・復元した西尾市歴史公園を起点にした桜街道」をつくるには、しっかりと考えた計画や長い時間が必要となります。現在、西尾市には、道路整備と一体的に進める沿道のまちづくりについて、何か計画がありますか。また、計画がある場合、また、無い場合でも、今後、私の案を盛り込むことができますか。</p> <p>【質問2】 提案が実現されれば、桜の木の管理や、多年草の手入れなどをしなければなりません。花の管理等を継続的に行うためには、沿道に住む地域の人たちの協力はもちろんですが、市役所のバックアップも必要となります。市民が中心で行う景観まちづくりや美化活動に対し、市役所は、何か支援してくださいますか。</p>	<p>【市長】 具体的に進めている計画はありません。今後考えていく上で、今回提案していただいたことを参考に計画に盛り込むことは可能です。提案のとおり、季節に応じた色とりどりの花が咲いている様子は、まちの景観にとっても素敵だと思うので作っていくことは大切だと思います。一方で、管理面から考えると、実は思った以上に経費がかかります。市内の公園や川沿いの堤防など見ると草が生えていると思いますが、それを年に数回、業者に依頼し草刈りをしています。1か所で何十万とかかります。作るのは大事ですが、それを管理するにもお金がかかります。花が好きな人は結構いると思います。自分たちが作った花壇などは、その花を見てくれた人が喜んでくれた時に、やってよかったという気持ちが芽生えます。そういったボランティアの方々の力を借りて管理しないと続けていけないと思います。 バックアップについては、環境美化活動を行う時、活動する際の保険加入に対する補助や道具の貸し出しは市で行っています。また、川掃除を行っていただいた時にお礼をさせていただいています。また、継続的かつ自主的に長く活動している方に対しては表彰という形をとっています。豊根村の芝桜が有名ですが、特定のエリアに付加価値を付けてPRしていくことは必要だと思います。市内には三ヶ根山がありあじさいが有名なので、あじさいの株を増やし特化した取組は観光面からも大切だと思っています。</p>	<p>地域支援協働課 都市計画課 環境保全課</p>
<p>【提案1】 西尾城の一部を再建・復元した西尾市歴史公園を起点に、市内の道路を放射線状に区分けし、それぞれの区間ごとに違う種類の桜を植えます。色が白っぽい江戸彼岸桜、淡紅色のゴランバ桜、桃色のウコン桜、濃いピンク色の寒緋桜など、薄い色から濃い色へグラデーションがつくように植えます。また、珍しい淡緑色のギョイユウという桜も植えます。</p> <p>【提案2】 手入れが簡単な多年草を、桜と桜の木の間植えます。春はエリゲロン、ヒューケラを、夏はラベンダー、ヒメツルソバ、カワラナデシコを、秋はコスモス、ヒメツルソバを、冬はクリスマスローズを植えます。これらの提案が実現できれば、西尾市が華やかな町になります。市内を歩けば、沿道の花を見る楽しみができ、観光客も訪れ、「賑わいと華やかさがシンボルのまち 西尾」のまちづくりに期待が持てます。また、花のある町には、心にゆとりが生まれ、市民の景観に対する意識の向上や治安維持にもつながり、安全、安心なまちづくりを進めることができます。</p>			